

# 新富町の新たな力に!

## 第2回

# 地域おこし協力隊通信

あかねのつばき

先日、アラフォーの女友達(彼氏なし)が誰とでもいいから2020年2月2日に入籍したい!と言っているのを聞いて一抹の不安を覚えました。結婚っていったい何なんでしょうか……(続)



**岩本 脩成 (いわもと・しゅうせい)** 1992年、宮崎県生まれ。大学在学中から前職を退職するまで、約8年にわたり再生医療に関する研究開発に携わる。この経験を活かし、地元宮崎の特産品を使って「健康・美容」に効果的な製品を生み出したいとUターンを決意。酵素を多分に含む農作物「パパイヤ」に注目し、地域おこし協力隊として生産および加工品の開発に着手。今年度中の製品化を目指している。27歳の独身。約2メートルの長身で端正な顔立ちの理系男子。

ズッキーニ農家の高橋和太郎さんに土壌を整えるところから、植え終わるまで、全ての工程を細かく教えていただきました。



現在、パパイヤ生産・加工品開発を活動の中心に置いている岩本さんは、新富町の地元農家さんと連携しながらパパイヤを育てています。定植から約1ヶ月が経過し、葉や茎、根にも大きな成長が見られると嬉しそうに話す一方で、同じ土地の中でも成長速度に差が生じており、露地栽培の難しさなども感じているようです。今後はハウスでの栽培実験も計画していて、多様な環境で栽培データを収集することを目指しています。

また、加工品の開発も同時に進めています。市販のパパイヤを使い、漬物やスムージーの試作品作りにも精を出しています。パパイヤが持つ酵素を加工段階で失うことなく製品化するためにはどうしたらよいか、日々試行錯誤しています。また、研究開発に携わった経験を別の場面でも発揮しようと、町内の農家さんと北九州高専が共同で推進するスマートアグリ事業にも積極的に関わっています。



前職からまちづくり事業に携わってきたキャリアを活かそうと、毎日、新富町Tシャツを着て奔走する橋本さん。町内の事業者さんとはどんな課題を抱えているのか……。まずは生の声を拾うことから始めようと町内訪問を日課にしていますが、直接的な関わりを持つ中で様々な問題が見えてきたそうです。この解決策の一つとして、現在こゆ財団と共催で「小商いキャリア育成塾」という人材育成セミナーを運営しています。①まちづくり人材育成、②地域ブランドینگ、③商品開発・販路開拓、④情報発信という4つの分野に分けて各5回ずつ、計20講座を7ヶ月に渡り開講。事業者によって課題も多様化していますが、分野やテーマを細分化して体系的に学べる場を創ることで業種や立場に関係なく、多くの方々の助けになれるのではと考えているようです。直近では7月27日に「問題解決力セミナー」と題した講座が開かれるよう、今日もまた、新富町Tシャツを着て学びの場を求める町民を探し、走り続けています。



**▶橋本健太の基本姿勢**  
足を大きく広げて腕を組む。安定感抜群だけど違和感あり。彼、ちょっと変わってます。



**▶橋本健太の仕事道具**  
仕事で愛用している万年筆はネーム入りのシンプルなもの。婚姻届けを書く際に奥様とお揃いで購入されたとか。

**橋本 健太 (はしもと・けんた)** 1986年、愛知県生まれ。専門機械商社での営業職や、まちづくりコンサルタント事業を展開する社団法人での前職経験を活かし、新富町ではおもに事業者の課題解決支援や、人材育成事業の計画策定など、ヒトと産業の両面から“まちづくり”を後押しする役割を担うべく、今年4月より地域おこし協力隊に。